

2016 近畿大学アンチエイジングセンター
第15回 市民公開講座



芸能と笑いによる 免疫力アップ

受講料無料 定員200名 (先着順)

日時 5月14日 [土] 14:00 開演 (13:30 受付開始)

場所 近畿大学 東大阪キャンパス 39号館 202教室



講演 1 14:00~15:00

日本芸能にみるエイジング

[講師] 近畿大学 文芸学部 芸術学科 教授 林 公子



講演 2 15:20~16:20

がんと酒、いくつになっても、もしもの時も、
上手に付き合う方法、教えます。

[講師] 近畿大学 文芸学部 文化・歴史学科 准教授 前田 益尚

お申し込み・お問い合わせ先

近畿大学アンチエイジングセンター
〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
<http://www.kindai.ac.jp/antiaging/>

TEL (06) 4307-3097

FAX (06) 6729-3577

E-mail antiaging@itp.kindai.ac.jp



主催 近畿大学アンチエイジングセンター

後援 東大阪市薬剤師会連合会

近畿大学アンチエイジングセンターでは、少子高齢化が進むわが国において、国民の第一の財産である健康を守り、健康寿命を延ばし、生き生きとした社会を創るための活動を行っています。

講演 1

14:00~15:00

日本芸能にみるエイジング

[講師] 近畿大学 文芸学部 芸術学科 教授 林 公子

日本の芸能には、老齡のキャラクターが多く登場します。特に「翁」という芸能は、老齡の二人の神が登場して、世を寿ぎ、幸いと五穀豊穡を祈ります。老齡とはすなわち長寿のことであり、長寿であればあるほど、それはたぐいまれで目出度いこととして尊まれ、老人の形象は信仰の形となったのです。それが芸能化したものが「翁」ですが、能という芸能もまた、多く神や亡霊の仮の姿として老人が登場する芸能です。能と平行して演じられてきた狂言には、齡 100歳を越えて乙女に恋をする老人が登場します。日本の芸能に表された老人の諸相から、年を重ねることがどのように受け取られていたかをみていきます。

著書 『歌舞伎をめぐる環境考』晃洋書房、『岩波講座 歌舞伎・文楽』岩波書店(共著)

講演 2

15:20~16:20

がんと酒、いくつになっても、もしもの時も、上手に付き合う方法、教えます。

[講師] 近畿大学 文芸学部 文化・歴史学科 准教授 前田 益尚

がんは不治の病ではありません。2007年、下咽頭がんの診断を受け、奇跡の手術を受け声帯を残したまま現場へ復帰した本人が、がんに対して、楽観的に向き合い、乗り越えたプラス思考、病気の忘れ方を、皆さまに伝えます。

酒は百薬の長ではありません。がんの治療後、これまで目を背けていたアルコール依存症の症状が悪化し、2013年に緊急入院。断酒に向け、大学を休職し、本格的な治療を開始。そして2016年、断酒2年を迎え教育の現場に戻った本人が、病と、医療と上手に付き合い、厳しくも楽しく、乗り越える術を伝授します。

プロフィール 2007年度、ステージ4に近い、重篤な下咽頭がんと診断され、休職。京都大学医学部附属病院における約10カ月の入院で、声帯を残して生還を目指す奇跡の手術、放射線、抗がん剤の治療を経て、完治。2008年4月より、復職。2014年度、抑うつ状態、アルコール依存症と診断され、休職。京都のいむら病院における3カ月の入院治療を経て、断酒会に入会。安東医院に通院しながら、1年3カ月で、のべ330カ所以上の自助会に参加。体験発表を重ねて、回復を果たし、2015年4月より、復職。

著書 『楽天的闘病論—がんとアルコール依存症、転んでもタダでは起きぬ社会学』(晃洋書房、2016年)

お申し込み方法

近畿大学アンチエイジングセンター

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
<http://www.kindai.ac.jp/antiaging/>

住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・FAX番号を明記の上、下記の申し込み先にE-mailまたはFAXのいずれかにてお送りください。

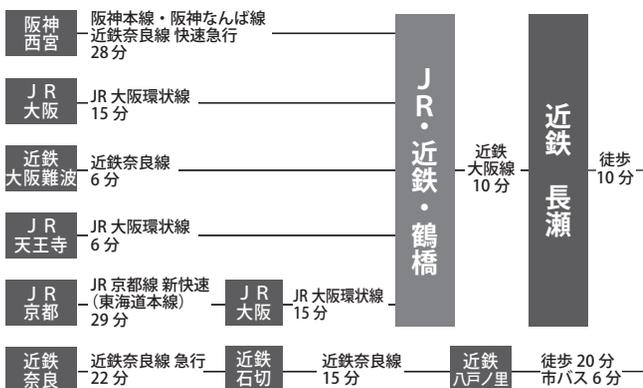
*ご応募頂いた皆様の個人情報は、近畿大学公開講座のご連絡のみに使用いたします。

TEL (06)4307-3097

FAX (06)6729-3577

E-mail antiaging@itp.kindai.ac.jp

■電車乗り換え案内 <各主要駅からの経路・所要時間(目安)>



■近鉄大阪線「長瀬駅」からのアクセス

